

# 東北地方 1か月予報

(7月22日から8月21日までの天候見通し)

平成18年7月21日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北地方では日照時間の少ない状況が続いている。今後一週間程度、日照時間が少なく、気温の低い状態が続く見込みです。農作物の管理などに注意してください。

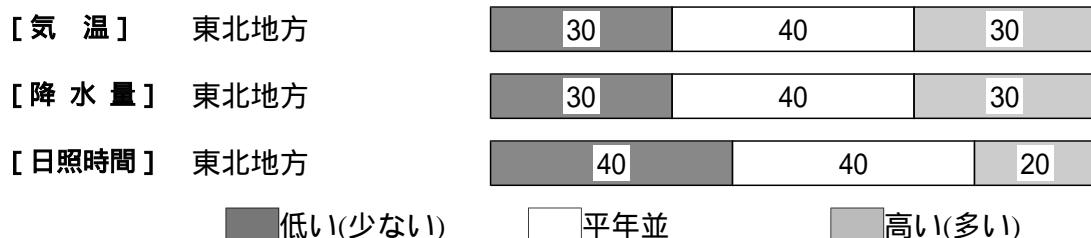
## <予想される向こう1か月の天候>

前線や気圧の谷の影響で天気がぐずつくことがあります、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い時期もあるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

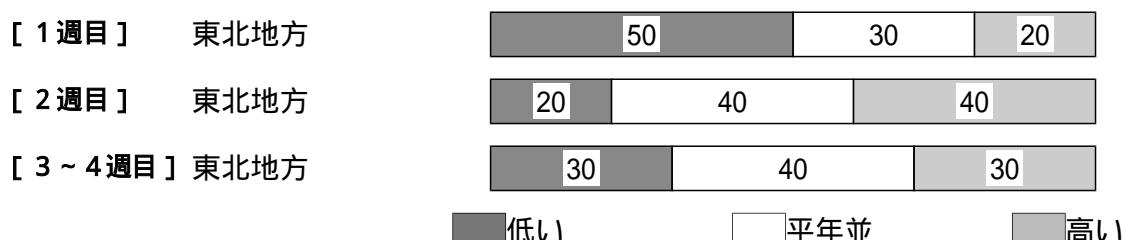
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は東北地方で低い、2週目は東北地方で平年並か高い、3~4週目は東北地方で平年並でしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 7月22日(土) ~ 8月21日(月)  
1週目 : 7月22日(土) ~ 7月28日(金)  
2週目 : 7月29日(土) ~ 8月4日(金)  
3~4週目 : 8月5日(土) ~ 8月18日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は7月28日  
3か月予報: 7月25日(火) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.2	115.8	194.6	22.6	23.6	23.4
深浦	23.3	144.8	191.9	22.8	23.5	23.4
むつ	21.8	115.2	160.9	21.1	22.1	22.0
八戸	22.5	116.3	182.5	21.9	22.9	22.7
秋田	24.7	158.7	202.3	24.3	24.9	24.9
盛岡	23.5	157.0	165.5	23.2	23.8	23.6
大船渡	23.0	151.4	169.7	22.4	23.3	23.3
宮古	22.2	140.3	172.4	21.5	22.5	22.5
仙台	24.1	144.8	158.4	23.5	24.4	24.3
石巻	23.4	105.7	179.9	22.8	23.6	23.7
山形	25.0	131.6	189.6	24.7	25.4	25.0
新庄	24.2	154.7	186.5	23.7	24.5	24.3
酒田	25.1	152.1	219.3	24.7	25.4	25.3
福島	25.4	129.2	164.2	25.0	25.8	25.5
若松	25.0	129.3	205.9	24.7	25.4	25.1
白河	23.5	187.1	159.2	23.2	23.8	23.6
小名浜	23.7	110.2	195.9	22.9	23.6	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.7	75 ~ 121	90 ~ 110
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	77 ~ 115	91 ~ 113
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	71 ~ 124	90 ~ 112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +1.1	-0.6 ~ +1.2	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.6 ~ +1.0	-0.7 ~ +1.1	-0.6 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.6 ~ +1.3	-0.5 ~ +1.3	-0.5 ~ +0.8

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年7月21日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(7月22日~8月21日):

前線や気圧の谷の影響で天気がぐずつくことがあります、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い時期もあるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

### 1週目(7月22日~7月28日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

### 2週目(7月29日~8月4日):

太平洋高気圧に覆われて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

### 3~4週目(8月5日~8月18日):

太平洋高気圧に覆われて、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。一時的に前線や気圧の谷の影響を受けて曇りや雨の日もある見込みです。

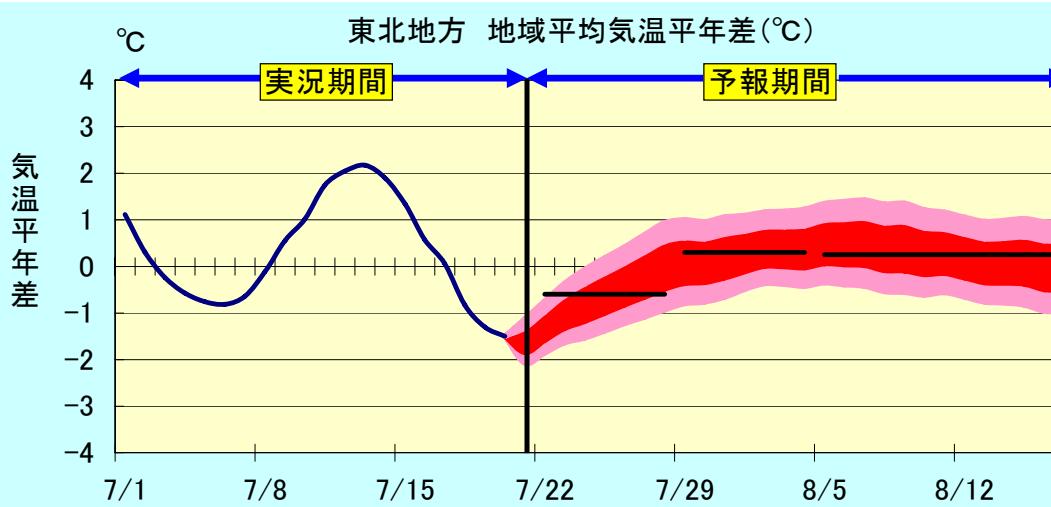
平均気温は平年並でしょう。

#### 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.5日	4.0日	4.0日	8.5日
東北太平洋側	14.6日	3.5日	3.7日	7.4日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「低い」、2週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

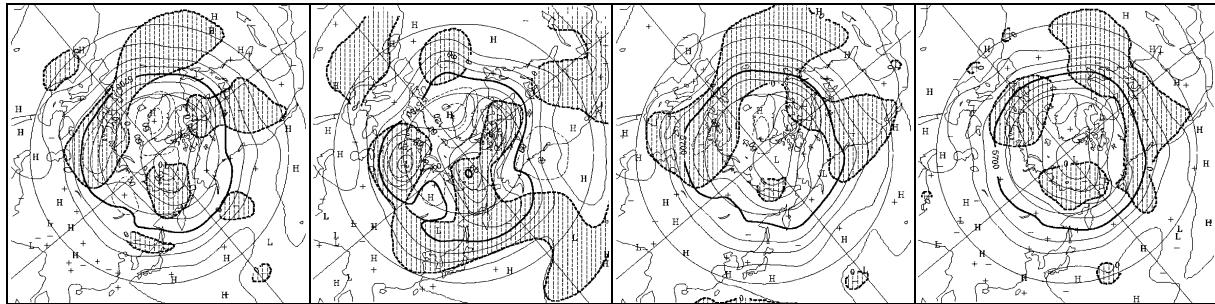


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は、中国東北区から北海道にかけて負偏差となる。低緯度付近と、北海道を除く日本付近は正偏差で日本の南の亜熱帯高気圧が明瞭である。

1週目は、大西洋北部からバイカル湖付近までの高緯度付近で波列が明瞭である。日本付近は、中国大陆から北日本にかけて負偏差で、この負偏差はアリューシャンの南海上まで帶状に広がる。日本の南は正偏差で亜熱帯高気圧が強い。2週目は、亜熱帯高気圧が強く日本付近に張り出し、広く正偏差に覆われる。3~4週目は、日本付近は広く正偏差で、ヨーロッパ北部とシベリア付近は負偏差となる。また、日本の東海上には負偏差が見られる。亜熱帯高気圧は日本の南東で強い。



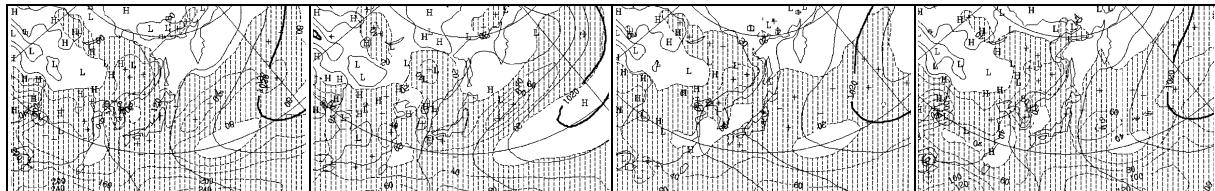
500hPa 高度予想図（左から）1ヶ月平均、1週目平均、2週目平均、3~4週目平均

実線：等高度線（間隔 60m）、点線：平年差（間隔は 1ヶ月 30m、週別 60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

#### 地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧は強く北へも広がる。日本付近は広く降水域がかかる。

1週目は、太平洋高気圧は日本の南に張り出す。本州付近には 40 ミリ程度の降水域がかかる。また、オホーツク海高気圧の影響もある見込み。2週目は、太平洋高気圧が日本の東海上で強く北にも張り出す。日本付近にはまとまった降水域は見られない。3~4週目は、日本付近は太平洋高気圧に覆われる。また、北海道の北東の海上に高圧部が広がる。東北地方には 60 ミリ程度の降水域がかかる。



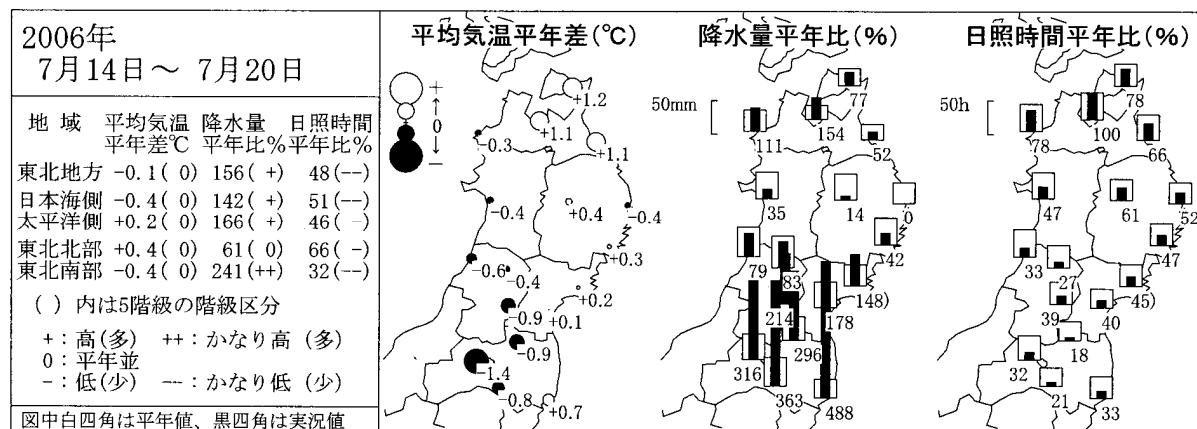
地上予想天気図（左から）1ヶ月平均 1週目平均 2週目平均 3~4週目平均

実線：等圧線（間隔 4 hPa）、陰影部：降水域（1ヶ月 80mm 以上、1週目・2週目 20mm 以上、3~4 週目 40mm 以上）

### 4. 最近1週間（7月14日～7月20日）の天候の経過

この期間、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。東北北部にあった梅雨前線は次第に本州南岸まで南下し、東北南部を中心にまとまった雨となった。また、17日以降オホーツク海高気圧の影響も加わって気温が平年より下回り、最高気温が5°C以上下回るような状態となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

■ 平成 18 年の梅雨入り

地方	平成 18 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5 月 14 日ごろ	6 日遅い	12 日遅い	5 月 8 日ごろ	5 月 2 日ごろ
奄美	5 月 13 日ごろ	3 日遅い	8 日遅い	5 月 10 日ごろ	5 月 5 日ごろ
九州南部	5 月 26 日ごろ	3 日早い	16 日早い	5 月 29 日ごろ	6 月 11 日ごろ
九州北部	6 月 8 日ごろ	3 日遅い	2 日早い	6 月 5 日ごろ	6 月 10 日ごろ
四国	6 月 8 日ごろ	4 日遅い	3 日早い	6 月 4 日ごろ	6 月 11 日ごろ
中国	6 月 8 日ごろ	2 日遅い	3 日早い	6 月 6 日ごろ	6 月 11 日ごろ
近畿	6 月 8 日ごろ	2 日遅い	3 日早い	6 月 6 日ごろ	6 月 11 日ごろ
東海	6 月 8 日ごろ	同じ	3 日早い	6 月 8 日ごろ	6 月 11 日ごろ
関東甲信	6 月 9 日ごろ	1 日遅い	1 日早い	6 月 8 日ごろ	6 月 10 日ごろ
北陸	6 月 15 日ごろ	5 日遅い	12 日早い	6 月 10 日ごろ	6 月 27 日ごろ
東北南部	6 月 9 日ごろ	1 日早い	6 日早い	6 月 10 日ごろ	6 月 15 日ごろ
東北北部	6 月 15 日ごろ	3 日遅い	10 日早い	6 月 12 日ごろ	6 月 25 日ごろ

■ 平成 18 年の梅雨明け

地方	平成 18 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	6 月 20 日ごろ	3 日早い	7 日早い	6 月 23 日ごろ	6 月 27 日ごろ
奄美	6 月 20 日ごろ	8 日早い	7 日早い	6 月 28 日ごろ	6 月 27 日ごろ
九州南部	-----	-----	-----	7 月 13 日ごろ	7 月 15 日ごろ
九州北部	-----	-----	-----	7 月 18 日ごろ	7 月 17 日ごろ
四国	-----	-----	-----	7 月 17 日ごろ	7 月 16 日ごろ
中国	-----	-----	-----	7 月 20 日ごろ	7 月 18 日ごろ
近畿	-----	-----	-----	7 月 19 日ごろ	7 月 18 日ごろ
東海	-----	-----	-----	7 月 20 日ごろ	7 月 18 日ごろ
関東甲信	-----	-----	-----	7 月 20 日ごろ	7 月 18 日ごろ
北陸	-----	-----	-----	7 月 22 日ごろ	7 月 18 日ごろ
東北南部	-----	-----	-----	7 月 23 日ごろ	8 月 4 日ごろ
東北北部	-----	-----	-----	7 月 27 日ごろ	8 月 4 日ごろ

注)

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。

・「平年」は、平成 12 年(2000 年)までの過去 30 年の平均(入り・明けを特定しなかった年は除外)の日付です。

・このページの更新は平日に行います。情報発表日が休日の場合は休日明けの更新となります。